

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービスかなめ			
○保護者評価実施期間	R8年2月10日		～	R8年2月24日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	22名	(回答者数)	12名
○従業者評価実施期間	R8年2月10日		～	R8年2月24日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	3名	(回答者数)	3名
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月10日			

○ 分析結果

	事業所の強み(※) だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	外遊びを中心に活動を行っており、遊びを通して利用者のコミュニケーションスキルを学んでいく場を提供している。また、外遊びを通して体力の向上を図っている。	テレビ等の無いノーマディアの環境で、利用者同士、利用者と職員が関わりを持つことで、人との関わりを学んで行けるように工夫している。利用者が『楽しい』と思える場であるよう、個別の課題についても、職員間で密に話し合いを行っている。	活動に利用できる公園等の施設を広げるとともに、室内での活動について集団でできる遊びの種類を増やし、コミュニケーション能力を高める活動を行っています。
2	日頃から、利用者の状況を保護者と伝え合い、利用者の健康や発達の状況について共通理解ができている。	送迎時やSNS、電話など様々な場面で保護者と連絡を取り合っている。また、毎日のミーティングを行ない、利用者の状況や保護者からの連絡や相談についても情報共有や対応について話し合いを行ない、職員間での共通理解を深めることが出来ている。	今後もミーティングを継続し、職員間での共通理解を深めるようにしていきます。また、個別支援計画についてのケース会議でも話し合いの時間を十分にとれるようすすめていく予定にしています
3	毎日、出勤時と退勤時にミーティングルームを行ない、利用者や保護者への対応や業務についての検討を行っており、利用者にとって最善の利益を考慮することが出来ている。	将来を含めて、利用者にとって必要なスキルについて、保護者のニーズにも配慮しながら、話し合いを行なうことができています。職員全員が利用者のことを真剣に考え、支援に当たっている。	専門職としてのスキルアップを図るため、内部研修の充実や外部研修の積極的な参加を進めています。

	事業所の弱み(※) だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	学習面や生活面での課題については、職員間で細かい部分についての共通理解が難しい面がある。	遊びを中心とした活動内容になっており、個々の学習面や生活面での課題については把握が難しい。	放課後等デイサービスガイドラインの理解や発達障害についての研修を行い、職員のスキルアップを図る必要がある。
2	活動内容や職員体制など、保護者に対する周知が不十分である。	保護者に対して、個別には連絡を密に行っていたが、全体に向けての会報などの広報活動が不十分であった。	現在、LINEでの個別の連絡対応は行っているが、今後は、公式ラインなどを勝たせ、活動内容や職員体制の報告を行っていく予定にしている。
3	地域に開かれた事業運営について取り組みが不十分である。	地域住民に対して挨拶や事業所周りの掃除は毎日行っているが、地域の住民を行事に招待するなど積極的な活動は行っていないのが現状である。	今後は地域清掃などの参加を検討していく。また、事務所の行事等への招待についても検討していく。